

ライフ

自立相談の利用増加



「ふらっと」
「生活あんしんセンター」

昨年度の新規450件

経済面や精神面などさまざまな理由で生活に悩んでいる人の、相談センターの利用が増えている。国の生活困窮者支援制度に基づいて開設している十勝管内の2つの相談センターで、昨年度受け付けた新規相談は約450件で、総相談件数は約1860件に上った。

「収入不足」「求職」目立つ

管内には帯広市が、自立相談所「とかち生活あんしんセンター」(帯広市東4南18、中島垂6南6、ソネビル2階、八重樫希子センター長)が、ともに2015年から本格運営され、今年度で3年目を迎える。

昨年度の相談件数(新規、概算値)は、「ふらっと」が前年から3%(6件)増の194件、「とかち」が前年から16.2%(36件)増の258件で計452件。相談延べ件数は、「ふらっと」が1.5%(10件)増の664件。「とかち」は37%(323件)増の延べ1197件で、計1861件に上っている。

相談内容は、本人の病気や家族の介護に掛かる医療費が支払えないなどの「収入不足」が、相談センターでは、面談の他に電話やメールでも相談に応じている。

「ふらっと」で1331件、「とかち」が1222件と最も多い。次に、仕事への就労に関する「求職」が、「ふらっと」で1000件、「とかち」は1114件。また、家族不和や子育て、引きこもりの他、DV(ドメスティック・バイオレンス)や虐待といった生命の危機に直結する相談も寄せられる。

同センターでは、町村への定期的な出張相談会を実施。この他、履歴書や面接対策など仕事の相談に特化した就職相談会も行っている。上司からのセクハラが原因で転職した管内の30代女性は、8社で不採用だったのが「とかち」に相談し、2週間で就職が決まった。「1人で悩まず、まずは相談を」と中島センター長は呼び掛ける。

相談や問い合わせは、「ふらっと」は電話(0155・2073060)、Eメールが(ohinro-flat@keisei-kai.jp)。「とかち生活あんしんセンター」が電話(0155・667112)、Eメール(anshin@tokachi18.hokkaido.jp)。(藤島諒司)

福祉

